

中野区

中野区

男女平等に関する啓発・情報提供・学習支援

区民向け
講演会の開催

令和4年度 中野区男女共同参画週間 講演会

～大学教授が語るやさしいジェンダー論～

「考えが変わり
行動が変わり
社会が変わる」

令和4年
6/18(土)
14:00~15:30



社会が変わる

5人の子どもの子育てや、長年の教員生活における学生たちとの学びなど、ご自身の経験に基づくエピソードを通し、「ジェンダーとはなにか」についてやさしくお話していただきます。

会場 中野区役所 7階会議室
(中野区中野4-8-1)

講師 広岡 守穂氏 (中央大学 名誉教授)
(ひろおか もりほ)

対象 区内在住・在勤・在学の方
その他関心のある方

定員 先着50名(事前申込み・入場無料)

申込み 令和4年5月23日(月)から電子申請か電話、
または直接平和・人権・男女共同参画係
(区役所4階10番窓口)へ。

一時保育 6月10日(金)までにあわせて申込みを。
生後6か月から未就学児のお子さんが対象。
先着3名。申込み時にお子さんのお名前と年齢、性別をお伝えください。

○マスクの着用、入場時の検温、手指消毒のご協力をお願いいたします。
○新型コロナウイルスの感染状況により事業内容を変更または中止することがあります。

主催：中野区平和・人権・男女共同参画係 TEL.03-3228-8229 FAX.03-3228-5476

防災リーダー
対象講座

令和4年度
防災リーダーフォローアップ講座
「古い常識のまま支援していませんか？
命を守る最新アウトドア防災と最新の支援の常識
～人権・男女共同参画の視点を踏まえ～」

【受講後の感想】
昔の常識と今の常識を教えていただき、確認できてよかったです。防災グッズの正しい使い方と材質の大切さを知れてよかったです。アウトドアの切り口が新しかった！



●アウトドア防災ガイド あんどりす●

新建新聞社「りすの四季だより」著者

女性防災ネットワーク・東京 呼びかけ人

リスク対策.com名誉顧問

FM西東京 防災番組 パーソナリティ

Yahooニュース個人 オーサー

長野県佐久市医師会 教えてドクタープロジェクトチーム

兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 博士課程

【受講後の感想】

実際に図上訓練を実施し、意見交換でき、また時間に追われる内容であったので、リアリティのある効果的な訓練となりました。

職員研修

大規模災害時の被災の実態と
避難所運営に求められること

講師 浅野 幸子

GDRR
Training Center for
Gender &
Disaster Risk Reduction

減災と男女共同参画 研修推進センター 共同代表
早稲田大学地域社会と危機管理研究所 招聘研究員

中野区

家庭生活と社会生活の両立支援

女性に対する暴力への取り組み

区民向け
セミナーの開催

参加 無料 託児 無料

ワーキングカップルのキャリアデザイン

～ワークとライフの充実、私たちのありたい姿とキャリアを考える～

社会全体では共働き世帯が増え、夫婦・カップルどちらも家庭(ライフ)での役割を果たしながら、仕事(ワーク)をするのが当たり前になってきました。

忙しい毎日を送っていると、自分たちがどのようなキャリアを形成していきたいのか、また、どのような生活を送っていかたいのか、夫婦・カップルでイメージを落着いて考え、共有することも一苦労だと思います。

本セミナーでは、キャリア形成を夫婦・カップルで支援し合えるよう、1日目に、私たちが働く社会背景やワークライフシナジー(仕事と生活の相乗効果)について考えます。

2日目に、夫婦・カップルにとってのありたい姿と、具体的なアクションプランについて、個人ワークも交えながら考えます。セミナーで学んだことを、ぜひ夫婦・カップルで共有してください。ご一緒に参加もお待ちしております。

1日目
令和4年 10/19(水) 18:00~20:00

ワークライフシナジーを実現し、
充実した人生を手に入れよう

- ・ 私たちが働く社会背景とは
(男性育休、女性活躍、介護などのトピック)
- ・ ワークライフシナジーとは
- ・ 今までのキャリアを振り返る

※両日の内容は一部変更となる場合がございます。ご了承ください。

2日目
令和4年 10/21(金) 18:00~20:00

夫婦のこれからの
キャリアを考えよう

- ・ 私たちのありたい姿
- ・ キャリアプラン・ライフプランについて考えてみよう
- ・ プランを実現するために工夫できること、
やれることを考えてみよう

講師 株式会社ワーク・ライフバランス
コンサルタント

かわもと たかのり
川本 孝宜 氏



国土交通省などの行政機関から、アイシンや富士通工フ・アイ・ビー、オンワードなど、幅広いクライアントのコンサルティングを担当。前職の経験を活かしながら、人との関係性、チーム、納得感を尊重し、対談しながらゴールに向かうアプローチで信頼を得ている。妻と子ども2人の4人家族。「家族もチーム。みんなの人生を充実したものにしよう」というモットーのもと、育児・家事はパートナーと完全シェア。次男出生時に半年の育児休暇を取得。趣味のサッカーを活かした「サッカー×働き方改革」のセミナーも好評を得る。

会場 中野区産業振興センター大会議室 ※地図は裏面

定員 30名(先着順・要事前申込)

対象 働く人・その配偶者、テーマに関心のある方

申込 TOKYOはたらくネットセミナーページ
<https://www.hataraku.metro.tokyo.lg.jp/seminarform/index/menu/>
東京都労働相談情報センター 普及担当

03-5211-2209

03-5211-3270 (申込用紙は裏面)

ご注意
※新型コロナウイルス感染症の状況や天災等の影響により、セミナー開催を中止、時間変更又は延期することがあります。
※新型コロナウイルス感染症予防のため、会場内では常にマスクの着用をお願いします。体調が優れない場合は受講をご遠慮ください。

主催 東京都労働相談情報センター

共催 中野区



区民向け
講座の開催

STAND Still

性暴力サバイバー
ビジュアルボイス写真展



中野区
ハートビル
1階

日時：令和4年12月8日(木)～13日(火)

午前9時～午後5時 ※最終日は午後1時まで

会場：中野区産業振興センター1階 イベントホール

(中野区中野2-13-14)



「私には光が見える」 by マツユキソウ © 2019 STAND Still All Rights Reserved

STAND Still 写真展について

世界的なムーブメント#MeTooは、多くの性暴力被害者に希望を与えました。それでも公に#MeTooと言えない被害者達は数え切れないほど存在します。そんな人達が安全に自由に表現できる場作りとして、フォトジャーナリスト大飯順子氏が2019年「STAND Still」を始めました。

今回の写真展は、アメリカで反響を呼んだ写真プロジェクト「STAND-性暴力サバイバー」の第二弾の作品となります。このプロジェクトでは大飯氏が撮るのではなく、講師として携わり、サバイバー自身が写すことにより当事者目線で社会を切り取り、内側からサバイバーの世界を可視化します。

性暴力被害当事者たちが自らの視点で思いを写した写真展です。ぜひご来場ください。

◆同時開催◆

犯罪被害者支援
パネル展



主催：中野区(平和・人権・男女共同参画係/犯罪被害者等相談支援窓口)
STAND Still 東京

助成：公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京

【問い合わせ先】中野区平和・人権・男女共同参画係
TEL.03-3228-8229 FAX.03-3228-5476

大学生対象
講座の開催

～デートDV～
お互いを尊重した関係とは



NPO法人 レジリエンス
中島幸子 et.al. MSW, JD 西山さつき

Resilience

【受講後の感想】

DVと言っても色々なDVがあることが分かった。自分が加害者にも被害者にもなるかもしれない。そんな時は今日の講座を思い出してみたいと思いました。

